

## 新たな講習制度の実現へ！

道季労第43回総会ひらく



道季労第43回定期総会が2019年6月1日13時から連合北海道会議室で開催し、田村会長、顧問の長沢さん（第4代会長）の挨拶、来賓として連合北海道の杉山事務局長の挨拶を受けて、その後、今後の活動について論議を深めました。

2019年活動方針では、働く者の権利と労働安全確保のための知識を得るために季節労働者の講習制度を冬期間に実現する新たな制度をめざすことを決めました。

連合北海道、国会議員団とも連携し、みんなで知恵を出し合って、制度の内容づくりあげ、国に講習制度の実現にむけて取り組みを進めていくこととしました。

他の政策課題としては、特例一時金50日分の確保、短期就労事業の拡大、建退共の改善と拡大、通年雇用促進支援事業の運用の改善、公契約条例の制定にむけて、取り組みを強化していきます。

今後の道季労運動については、本部はもちろんのこと、各地区本部を活性化させる手段をどうつくりあげるのか、難しい課題がありますが、みんなの創意と団結力を固め、連合北海道の「季節労働者支援センター」のもと、連合の各地協、地区連合の支援をうけながら、組織の前進をはかっていくことを確認しました。各種選挙戦においては、連合北海道が推薦する候補の完勝をめざして、当面する参議院議員選挙では、北海道選挙区候補予定者の**勝部けんじ**、比例代表候補予定者の**もりやたかし**の完勝にむけて、全力をあげて闘い抜いていきます。

役員は、顧問に長沢徹、会長に田村龍治、副会長に佐藤潤、事務局長に新野勝昭、事務局次長に坂本守正、会計監査に山本功を選出し、田村会長を先頭にして引き続き、道季労の運動を展開していきます。